

こめつつじ



庵治半島 5 座縦走 (大仙山)

2024年 **4** 月号

NO 514



善通寺山の会
YAMANOKAI

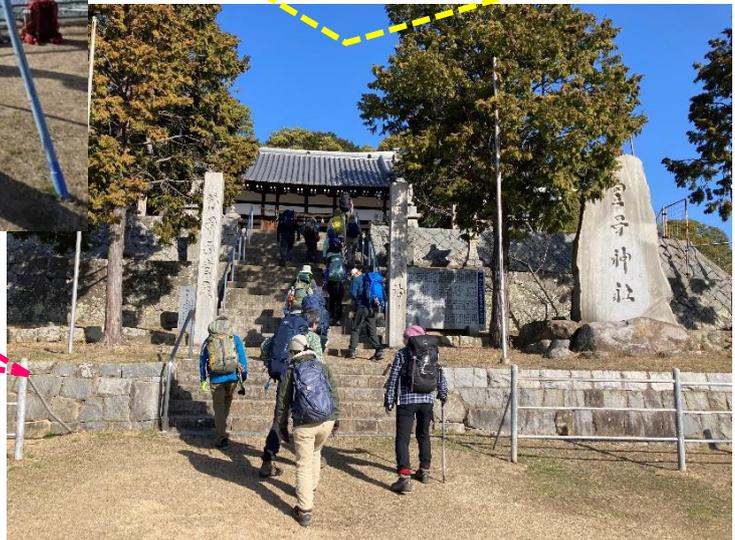
3月10日に16名(内 一般参加者4名)で
庵治5座(御殿山、大仙山、遠見山、立石山、竜王山)
縦走に行ってきました。



映画『世界の中心で愛を
さけぶ』のサクとアキのブ
ランコそばの皇子神社か
らスタートです。

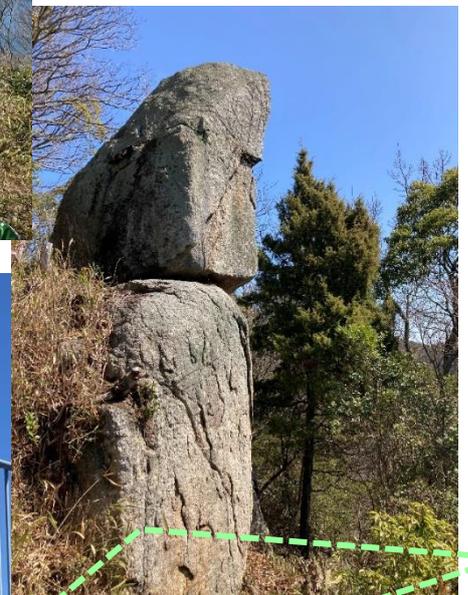


セカチューのブラン
コに、乗ってみたか
ったんです！



バーベキューをしている人がいました。
どこに居るか分かりますか？

遠見山の桜が満開で、遠くからもよく見えました。
後ろに屋島も見えますね。



女郎岩(女性の横顔に見えますか?)
あじ竜王山公園の橋から『お〜い!』

定例山行案内

岩トシ 1

- 日 程 2024年4月14日(日) 9:00~15:00迄
- 場 所 坂出市 大屋富
- 集 合 現地集合
-
- 持ち物 登攀用具 昼食

準備会はありませんので参加者はメールにて連絡して下さい。
装備のない方、初めての方も参加できます。



定例山行案内

岩トシ 2

- 日 程 2024年5月11日(土) 9:00~15:00迄
- 場 所 坂出市 大屋富
- 集 合 現地集合
-
- 持ち物 登攀用具 昼食

準備会はありませんので参加者はメールにて連絡して下さい。
装備のない方、初めての方も参加できます。

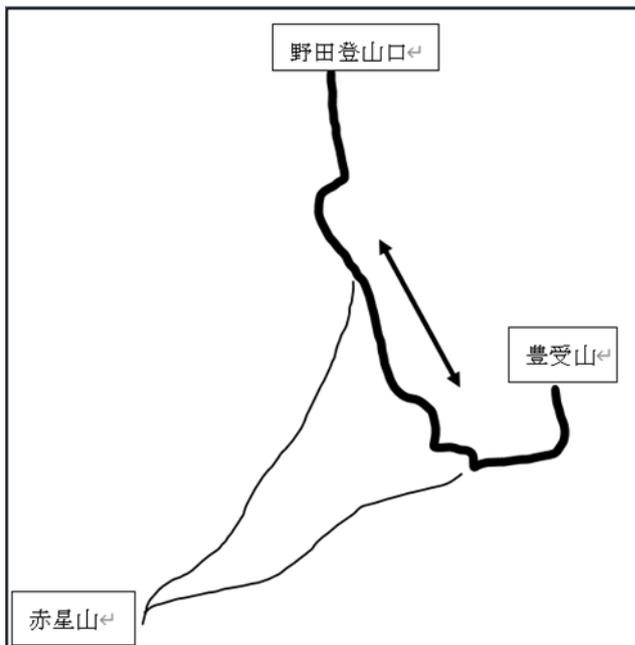
定例山行案内

皇子溪谷～豊受山 1.247m

- 日 程 2024年 4月 28日 (日)
- 目 的 溪谷と春の花を楽しむ
- 場 所 愛媛県 四国中央市
-
- 準備会 4月8日 (月) 19:30～
- グレード 体力度 2★★☆☆☆ (初心者～初級)
難易度 B★★☆☆☆ (初心者～初級)

赤星山の野田登山口から皇子溪谷ルートで玉簾の上の分岐から「隆ちゃん新道」を通って尾根に上がり豊受山に行きます。運が良ければ、アケボノツツジ、シコクカッコソウなど見られます。(カタクリは見られません) 赤星山登山者が多いので、早い時間で駐車場確保し、登山開始したいと思います。

歩行時間 6時間、約 6.8km、標高差約 930m。



定例山行案内

塔の丸 1713m～寒峰 1605m縦走

- 日 程 2024年 5月 3～4日（金～土・祝日）
- 目 的 祖谷山系の山を楽しむ
- 場 所 徳島県三好市
-
- 準備会 4月15日（月）19：30～ 事務所にて
- 体力度 4★★★★☆（中級）
- 難易度 C★★★★☆☆（初級）

名頃から塔の丸を登り、小島峠を経て黒笠山、矢筈山と登り、落合峠から烏帽子山、寒峰と巡ります。寒峰の登山口である住吉神社に車をデポして、名頃から塔の丸を目指そうと思います。個性的な峰々をテントを持って一緒に楽しみましょう。

定例山行案内

西赤石山 1625m

- 日 程 2024年5月12日（日）
- 目 的 遺跡巡りと花満開の山を歩く
- 場 所 愛媛県新居浜市
-
- 準備会 2024年4月25日（木）
- 体力度 2★★☆☆☆☆（初心者～初級）
- 技術度 1★☆☆☆☆（初級）

日浦登山口からの出発で別子銅山の遺跡巡りのコースを登りたいと思います
赤いレンガ造りの煙突がある醸造所跡や小学校や劇場跡もあり
とても繁栄していたことがわかる
アケボノツツジは有名だがツガザクラは日本南限でしかも四国唯一
西山の標高1300m低山に自生する例は他にはなく珍しい

体力度と難易度		
体力度	歩行時間 休憩含まず	クラス
1	4時間まで	初心者
2	6時間まで	初心者～初級
3	8時間まで	初級～中級
4	8時間以上	中級
5	10時間以上	上級

技術度	状況	クラスと 登山者に求められる要件
A	◆比較的整備された登山道。◆転んだ場合でも転落・滑落の可能性は低い。◆道迷いの心配は少ない。◆雪・沢・岩は含まない。	初心者◆登山の装備が必要
B	◆沢、崖、場所により雪渓などを通過。◆急な登下降がある。道が分かりにくい所がある。◆転んだ場合に転落・滑落事故につながる場所がある。	初心者～初級◆登山経験が必要。◆地図読み能力があることが望ましい。
C	◆ハシゴ・くさり場、また、場所により雪渓や渡渉箇所がある。◆ミスをするると転落・滑落などの事故となる場所がある。◆案内標識が不十分な箇所も含まれる。	初級◆地図読み能力、ハシゴ・くさり場などを通過できる身体能力が必要。
D	◆厳しい岩稜や不安定なガレ場、ハシゴ・くさり場、藪漕ぎを必要とする箇所、場所により雪渓や渡渉箇所がある。◆手を使う急な登下降がある。◆ハシゴ・くさり場や案内標識などの人工的な補助は限定的で、転落・滑落の危険箇所が多い。	中級◆地図読み能力、岩場、雪渓を安定して通過できるバランス能力や技術が必要◆岩登りの基礎技術が必要。◆ルートファインディングの技術が必要
E	◆緊張を強いられる厳しい岩稜の登下降が続き、転落・滑落の危険箇所が連続する。◆深い藪漕ぎを必要とする箇所が連続する場合がある。	中級～上級◆地図読み能力、岩場、雪渓を安定して通過できるバランス能力や技術が必要。◆登山者によってはロープを使わないと危険な場所もある。◆ルートファインディングの技術、高度な判断力が必要

1. 体力度について

ガイドブックを参照し、歩行時間を算出。該当する時間に当てはめて決定する。

ただし、休憩時間は含まない。

2. 技術度

ガイドブック等を参照又は地図を見て危険個所の有無を確認し、該当する項目がある

ランクを適用する。

※天候の急変などによって、必ずしもグレード表の通りとは限らない。

定例山行報告

島シリーズ栗島 城山 221.8m ・ 紫谷山 144.8m

- 日 程 2024年 3月 2日(土) ■天 候 晴れ
- 場 所 香川県三豊市
- 目 的 瀬戸内の景色を楽しむ
- 参加者 6名

- 費 用 走行距離 28km 800円/人 (内 フェリー代往復 660円)
コースタイム

事務所 6:30=6:55 須田港 7:25=7:40 栗島港 7:50—8:10 城山登山口
8:38 城山山頂—9:27 ルポール栗島—10:10 紫谷山登山口—11:13 紫谷山頂上
—11:40 紫谷山登山口—11:58 中新田(昼食)—13:22 西浜—13:46 ブランコ
の休憩所—14:20 栗島港 14:30=14:45 須田港=17:20 善通寺山の会事務所

瀬戸内の景色を楽しもうと栗島の城山(じょうやま)と紫谷山(しきややま)の2座に登った。須田港にフェリー出発の30分前に到着した。フェリー乗るのはちょっと旅行みたいで楽しみ。フェリーは私たち6人とあと3人ぐらいで出発した。

栗島には山が3座あり地図には城山は道があるが、あとの2座は道の記入がなく、さて藪漕ぎか?ちょっと楽しみ。城山は道案内もあり道も整備されている。展望も良く東屋には写真撮影のための月日が入れるボードもあった。下山後「ルポール栗島」(日本最古の海員養成学校を保存公開したもの)でトイレ休憩・お土産も購入した。ここはレストランでランチも食べる事が出来るらしい。

次に紫谷山に向かう。紫谷山登山口はわかりにくく地図で確認する。民家の横の果樹園を過ぎるとトラロープが張られ、どうにか道とわかるが、ほぼやぶ漕ぎで50分位進むと山頂の三角点を発見する。見通しも悪くすぐに下山開始。下山は登りと違う道だが登りより急勾配でトラロープはずっと張ってくれているので、どうにか道迷いすることなく下山。栗島は三つの島が繋がった形をしていて、くびれの様になった所(中新田)で大休憩(昼食)を取る。海岸に鳥居がありその下でザックを広げて休んでいると足元近くまで短時間で波が満ち





てきて、慌てて移動する。

フェリーの出発まで時間が沢山あるので粟島の3つ目の山である阿島山の登り口まで見に行く事にして、西浜に向け出発。西浜は風が強く海も荒い。途中で猪を乗せたトラックに会う。100kgを越えた丸々とした猪だった。阿島山の登り口も確認したのでフェリー乗り場に移動する。

途中個人の方が作ったブランコや迷路があり休憩場となっているので、迷路で遊ぶ、簡単そうだが何回も行き止まりになる。



その後フェリー乗り場に到着した。帰りのフェリーはほぼ満員で須田港に到着。天気もよく瀬戸内の景色も堪能でき楽しい一日が過ごせた。



拡大山行報告 庵治半島五座

御殿山 80m 大仙山 131.5m 遠見山 235m

立石山 194m 庵治竜王山 239m

- 日 程 2024年3月10日(日)
- 目 的 瀬戸内海に面した里山縦走で景色を楽しむ
- 所在地 香川県高松市庵治町
- 参加者 16名
会員外:4名

- 費 用 ガソリン代 走行距離往復100km ¥560/一人
- 天 候 晴れ

【コースタイム】

事務所 6:40 = = = ラ・ムー高松東店 = = = 8:10 港駐車スペース 8:15 . . .
8:20 皇子神社(トイレ) 8:45 . . . 金毘羅神社 . . . 8:55 御殿山 . . . 9:15
根太鼻 . . . 9:40 休憩 . . . 10:00 大仙山登山口 . . . 10:50 車道 . . . 11:30
遠見山 12:10 . . . 12:35 立石山 . . . 12:40 女郎岩 . . . 13:15 竜王公園 . .
13:45 庵治竜王頂上 . . 14:00 車道 . . . 15:15 駐車場 15:25 = = 17:15 事務所

一般参加者4名を含む15名で3台に分乗して事務所を出発。途中ラ・ムー高松東で1名合流し計16名の参加であった。天気が良いのがうれしい。

庵治の港の駐車場に1時間半ほどで到着。石段を登ったところの皇子神社でトイレ利用後、準備体操をして3班のパーティーが順番に出発。ここの神社には映画「世界の中心で愛を叫ぶ」のブランコがあり、ロケ地として有名だったところだ。

今回は五座を縦走する。10分程で最初のピーク御殿山に着いた。標高は80m位、水戸黄門の兄の別荘があったことで御殿山とよばれるとのこと。次に海の端っこにある根太鼻という岩場に寄った。海沿いの崖っぷちの道を進み、砂浜に降りた。山行で砂浜を歩くのは珍しいことだ。ここでカップルが一组ホットサンドを作っており、おいしそう匂いが漂っていた。私たち16名につぎつぎ見られてやりにくかったかも . . . お邪魔しました。海岸から山に入り、またいったん車道に出

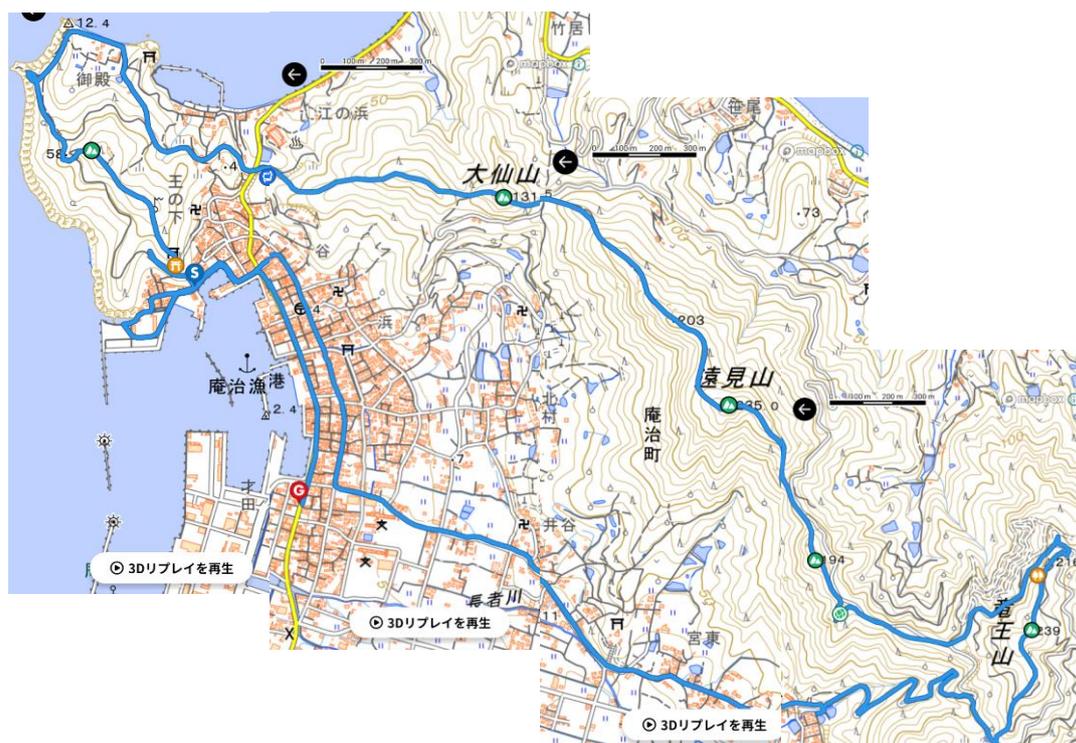


て、庵治温泉のそばの大仙山登山口から登山道に入る。登山道に入るところの木のハンゴは古くなっており、少し危ない気がした。登山道は階段で整備されていた。二座目の大仙山頂上は広々とした草原で休憩中寝そべるメンバーもいた。大仙山から車道に降りる途中、西鎌尾根という北アルプスのような看板があつて、見晴らしがよかつた。



三座目は遠見山で、ここは大きな桜の木が満開でとてもきれいだった。ここで昼休憩、持参のカップ麺などを頂く。遠見山の下りはきついところもあり、落ち葉も積もっていたので慎重に下る。遠見山を降りると車道と登山道が並行してあるのだが、登山道を行く。四座目の立石山に着き、最後の竜王公園目指す。途中、女郎岩というところによる。岩が女性の横顔に見える。

車道にでると庵治竜王公園へのゲートを通り、公園の駐車場に向かう。公園に着いて、公園の中を散策、石のオブジェなどをみる。日時計になっている橋を渡り、最後のピーク竜王山を確認して下山した。民家の間の生活道、車道を1時間15分程歩いて元の駐車場に戻った。トップのリーダーのペースが良く、休憩も程よくあったのでバテることなくよかつた。会員外の方とも交流でき有意義な一日だった。



十文字山 軍殿山 (いくさんど)

- 日 程 2024年 3月 17日 (日) 曇り後雨
- 場 所 広島県尾道市 百島
- 目 的 島山を登る
- 参加者 5名

- 費 用 2,850円/人 (260キロ)、船運賃往復 520円、おぜんざい 50円

コースタイム

山の会事務所 6:40=8:40 常石港駐車場 10:05~10:17 百島福田港 10:29~11:10 軍殿山登山口~11:30 軍殿山山頂・ビュースポット 11:40~12:55 十文字山山頂 13:30~14:00 だんご岩~14:40 福田港 15:23~15:34 常石港 15:40=17:40 善通寺山の会事務所 反省会後解散

天気予報は雨。雨が降り出すことを覚悟して、一路福山市常石港に向かう。道中、時折明るい陽が射すこともあり、「このまま大丈夫かも…」と淡い期待を抱く。

ずいぶん早く常石港に到着。地図を見ながら目の前の島でのこれからの山行をイメージしておしゃべりしながら過ごす。このまったりした時間も船旅ならではの楽しさである。

ようやく出港の時間になって、あれほど眺めた島が百島ではなかったことがわかり、メンバー一同大笑い。高速艇は、港を出た後右に大きく舵を切り、尾道市百島に到着する。

島の街並みをゆっくり歩く。どの家にも水仙の花が並んで咲き、柑橘系の果樹がたくさん植えられている。タイムスリップしたような懐かしい風景である。40分くらい歩くと、軍殿山登山口に。なんともユーモアのある看板に心が和む。



山頂目指して歩く。地元男性が、何度も「頂上に着いてからもう少し先まで行くように。そこの景色が最高だから…」と言われる。軍殿山への想いを感じる。アドバイス通り、山頂を通り過ぎ、しばらく進む。あいにくのお天気だったが、最高のビュースポットである。

12時を回った頃、雨が降り出す。雨具を整え、十文字山を目指す。183.8mだが、急登だ。山頂では、今日のお楽しみおぜんざい作り。CLが煮込んできてくれた小豆を熱い湯で溶かし、しゃぶしゃぶ餅を入れる。雨で冷たくなってきた中で、温かさで糖分を補給できた。

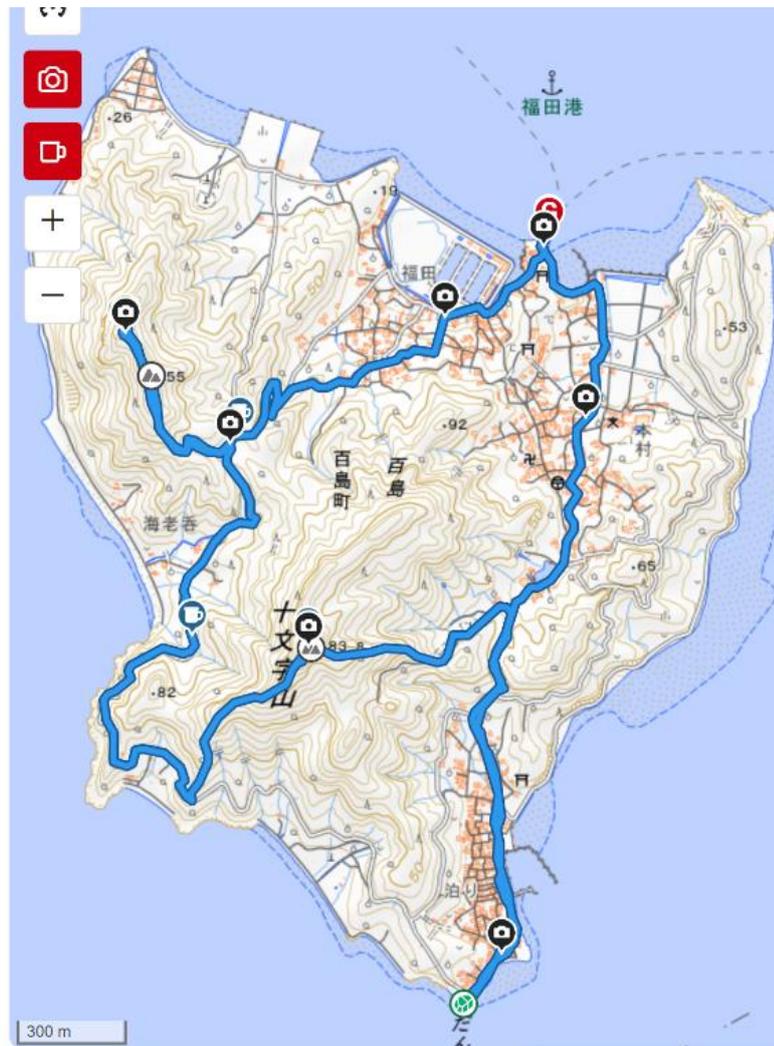


十文字山から下りた三差路で、島の南端“だんご岩”を目指すかどうか迷ったが、スピードアップして行くことにする。後で、弘法大師が上陸された岩であることが分かったが、その時には「これが、だんご岩？」と思いながら眺める。最南端からは、おぜんざいパワーなのか足取りも軽く島を縦断して、港に引き返す。

雨での山行だったため空と海の青さを感じることはできなかったが、かえって瀬戸内の島の温かさや懐かしさを味わうことのできる一日となった。



十文字山山頂にて



えんとつ山~犬返し~沈殿池(741m)~魔戸の滝

- 日 程 2024年3月13日(水) 晴れ
- 場 所 愛媛県 新居浜市
- 目 的 住友銅山の遺構を訪ねる
- 参加者 4名
- 費 用 移動: 130km(往復) 1,840円/人

事務所発 6:10=7:05 山根公園駐車場…7:35 えんとつ山…8:25 生子山(300.5m)…
9:45 犬返し(579m)…10:20 種子川山…11:10 林道交差…11:30 沈殿池(741m)…
12:50 魔戸の滝…(林道 7km) 15:20 山根公園駐車場=16:20 事務所着

個人山行案内で、地元四国、新居浜の山の上に別子銅山の遺構があり、近くに綺麗な滝もあるのご提案があり、その瞬間に「これは行かねば」と思った。標高も800mに届かず、街に近い低山なので気軽に行けるのかなと思っていたが、下調べで予想外にアスレチックなコースであることが判った(汗)。

新居浜市山根公園の駐車場を出発すると、程なく、えんとつ山に到着する。旧山根精錬所のレンガ造りの煙突部のみが保存され、シンボリックな存在になっている。因みに保存のために耐震補強されているとのこと。



ここから次の目標の生子山を目指して尾根筋を進むと直登となるが、里山とは思えないような変化に富んだ山道になった。

登山道付近の樹木が伐採されていることもあり、眺望も良く、新居浜や西条市内の街並みが一望できる。尾根は痩せ尾根で、何カ所もロープ場があり、雨の後で足場にも不安があり、落ちると大変なことになる箇所が多く、緊張感を持って進む必要があった。

尾根筋を進むと「犬返し」に到着する。到着するま



で、遠くの谷筋の奥に笹ヶ峰の堂々とした真っ白な山容が見え、都度、皆から歓声が上がる。

犬返しの先には約 4m位のほぼ垂直な岩場があり、犬はここが登れないので「犬返し」となったとのことである。一人ずつ声を掛けながら、ロープを使い慎重に降りた。この後の登山道では、野生のリスが目の前を通過することもあった。



さらに進むと斜面の崩落修繕工事のため、一旦、林道に迂回することとなるが、途中では山の中に石積みや古いコンクリート構造物が見られ、後に沈殿池から水力発電所に水を送る水圧鉄管を支える台であることが分かった。



やがて尾根筋に戻り「沈殿池」を目指した。沈殿池は、西赤石山系の銅山川の水を延々と引いてきて、この場に一旦貯水することで、砂などを沈殿させてゴミなども取除いた後に、旧別紙銅山の水力発電所(現マイントピア別子付近)に水を送る施設である。このようなとても不便な山中で大規模な施設の営みの跡を見ることが出来、先人のご苦労 (写真は沈殿池入口の導水路部)

の大きさと偉大さに大いなる感銘を受けた。

その後、尾根筋を引き返し、一旦、林道に出た後で、また山道に入り「魔戸ノ滝」に到着した。この途中にもロープ場があり慎重に進む必要があった。やがて瀑布の音と水しぶきを感じると、目の前に素晴らしい滝の景観が広がった。落差は約 40m とも言われ、水量も豊富で、たっぷりとマイナスイオンを頂いた。

魔戸の滝の後は、安全側に林道に迂回して帰るルートとなった。約 7km の林道歩きは、やや単調であったが、途中で野生の猿を見かけたり、超高圧送電鉄塔腕先端部での超高所作業を眺めたり、山腹に置かれているミツバチの巣箱にどうやって行くのだろうか議論したり、高速道路の下をくぐったりとするうちに、山根公園駐車場に戻ることが出来た。

今回の山行は地元の歴史遺産を探訪することであり、その目的は十二分に達成出来たと思うし、コース的には一人でチャレンジするには躊躇するようなハードな山道であったが、山の会の皆さんと行ったお陰で踏破出来たものだと感じた。

4月			5月		
1	月		1	水	
2	火	会報部会	2	木	例会
3	水	enjoy開校式	3	金	縦走塔の丸～寒峰 ↓
4	木	例会	4	土	
5	金		5	日	
6	土		6	月	
7	日	総会	7	火	
8	月	皇子溪谷～豊受山準備会	8	水	山行部会
9	火		9	木	
10	水	山行部会	10	金	
11	木		11	土	岩場歩きの基礎・岩トレ2
12	金		12	日	西赤石山
13	土	西日本①九重山系 ↓	13	月	
14	日	岩トレ1 ↓	14	火	
15	月	塔の丸～寒峰準備会	15	水	事務局会議・個人アポイ岳 ↓
16	火		16	木	運営委員会 ↓
17	水	事務局会議	17	金	
18	木	運営委員会	18	土	
19	金		19	日	四プロ交流ハイク・剣山行場 ↓
20	土	島①沖ノ島妹背山 ↓	20	月	
21	日	enjoy雲辺寺 ↓	21	火	
22	月		22	水	enjoy座学
23	火		23	木	
24	水	登山学校実行委員会	24	金	
25	木	原稿締切・西赤石準備会	25	土	原稿締切
26	金		26	日	enjoy城山～猫山・日帰り山行
27	土		27	月	
28	日	西日本②皇子溪谷～豊受山	28	火	
29	月		29	水	登山学校実行委員会
30	火	会報部会	30	木	
			31	金	

◆月会費:1,100円 入会金:1,000円

◆申し込み・問い合わせ先 ☎(0877)22-0036 佐藤



こめつつじ No514

発行:善通寺山の会 会報部	発行日:2024/4/2
住所:香川県善通寺市下吉田町143-1	
発行人:三野	編集責任者:村上しのぶ